

# 「高知の授業の未来を創る」推進プロジェクト事業 令和2年度 高知の授業づくり講座(国語)

## 《 第4回 授業研究会 》

令和2年11月6日(金)実施  
高知市立青柳中学校

発行 令和3年1月  
高知市教育委員会  
学力向上推進室



公開授業のレポートは、  
高知市教育委員会 学校  
教育課のHPをご参照くだ  
さい。

「『高知の授業の未来を創る』推進プロジェクト事業 令和2年度高知の授業づくり講座」では、学習指導要領が目指す授業づくりを押し進めるとともに、日常的に授業研究に取り組む風土づくりを行い、自ら学び続け、共に高め合う教員の育成を目指し、拠点校を会場に教材研究会・授業研究会を1セットとして、年間2セット実施します。高知市の中学校国語の拠点校である青柳中学校の第4回【授業研究会】の様子を紹介します。

### 単元名：青柳の風景の「今」を残す鑑賞文を書こう ～根拠を明確にして自分の考えを書こう～ 【出典】「根拠を明確にして魅力を伝えよう」(光村図書『国語1』)

本時(3/4時) 授業者：市川 才将 教諭， 学級：1年1組

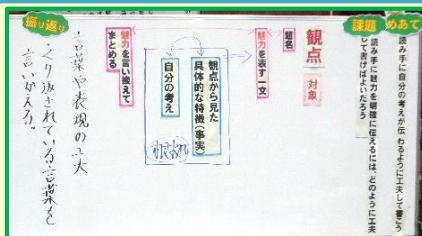
第3回教材研究会を踏まえ、教師の指導方法の工夫として鑑賞文モデルの意図的・効果的な活用、学習評価に関しては評価規準・評価方法の明確化について改善を加えた授業提案を行った。

#### I 「言葉による見方・考え方」を働かせ資質・能力を育成する



「言葉による見方・考え方を働かせる」とは、「生徒が学習の中で、対称と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方に着目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めること」(解説p.12)である。

本時では、二つのモデル文、モデル文と自分の書いた鑑賞文の表現の工夫等に着目し、比較することで、生徒たちに自分の文章を見直す視点を明確にし、磨かせるように仕組んだ。

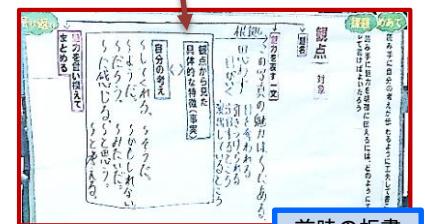


【本時の板書】  
「魅力」と「題名」「まとめ」、  
「魅力」と「根拠」(事実と考え)の  
つながりを視覚化し、練り直す際に  
着目させる。

書くことの指導の充実を図るために

◇書きたいと思う題材の工夫  
・目的意識、相手意識を持ち、生徒が「書きたい」と思う題材を工夫する。

◇文章の形式の理解を促す手立て  
・何を、どこに、どのように書いたらよいかを視覚化し、明示的指導を行う。

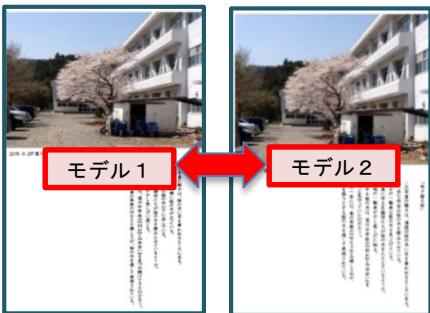


前時の板書

◇相手に分かりやすく言葉や表現を工夫する場面の設定  
・目的、相手に応じた言葉や表現になるように、言葉を磨く場面を意図的に設定する。

#### 言葉による見方・考え方を働かせている場面①

鑑賞文「モデル1」とモデル1を練り直した「モデル2」の魅力と根拠のつながり、表現の工夫に着目し、比較することで、読み手に魅力を印象的に伝える、効果的に伝える書き方の工夫を考える。



魅力を印象的に伝えるために、単に同じ言葉を使うのではなく、言い換えられる言葉を考える。

【手立て】  
モデル1とモデル2を比較した際の相違点を視覚化する。

まとめ	考え	事実	魅力	題名
この一枚には、春の季節の切なさを感じながら、桜の木を通して表現されている。	今年も桜の木は、澤川中学校の別れと「出会い」を、見つけた「出会い」。	写真に写る名脇役たちが桜の木を際立たせている。左端の一輪車が少し悲しげに映る。	真の日は校舎の横に桜の木が立っている。開閉の桜の木に目を奪われる。満開の桜の木に目を奪われる。	桜
この一枚には、春の季節の切なさを感じながら、桜の木を通して表現されている。	今年も桜の木は、澤川中学校の別れと「出会い」を、その真実とした。	写真に写る名脇役たちが桜の木を際立たせている。左端の一輪車が少し悲しげに映る。	真の日は校舎は桜の木を際立たせている。開閉の桜の木に目を奪われる。満開の桜の木に目を奪われる。	桜

#### 言葉による見方・考え方を働かせている場面②

「モデル2」と「自分の鑑賞文」の魅力と根拠のつながり、表現の工夫に着目し、比較することで、自分の鑑賞文の練り直す部分を考える。



「言葉による見方・考え方を働かせることが、資質・能力をよりよく身に付けることにつながる。

【手立て】  
「言葉ノート」を活用した、読み手に伝わる言葉や表現の吟味。



#### II 評価規準・評価方法の明確化 ～「主体的に学習に取り組む態度」の評価について～

##### 「主体的に学習に取り組む態度」の評価

- 粘り強い取組を行おうとしている
- 自らの学習を調整しようとする

この二つの側面を評価することが求められる。B評価とする基準や評価方法を明確にすることが大切。

##### 本時の評価規準・評価方法等

##### 評価規準・評価方法 【主体的に学習に取り組む態度】①

粘り強く自分の考えが伝わるように工夫し、学習課題に沿って書こうとしている。観察・ワークシート

ここでは、風景写真の魅力が読み手に伝わるように、「魅力」と「題名」「まとめ」の関連、「魅力」と「根拠」の結び付き、言葉や表現の工夫について見直したことを、伝え合ったり、書き加えたりしているかを確認する。

- 言葉や表現の工夫
- 言葉を言い換える。
  - ※同じ言葉を意図なく繰り返さない。
  - より様子が伝わる言葉を選ぶ。

##### <ワークショップ> 学習評価について

本時に生徒たちが練り直した鑑賞文を使い、A・B・Cどの評価にするかを検討した。

##### <評価の観点>

- ①「魅力」と「題名」「まとめ」を関連付けている。
- ②「魅力」と「根拠」が結び付いている。
- ③言葉や表現の工夫をする。

⇒左記のこと全てについて、見直そうとしていることが分かるもの... B評価



【事実の部分で書き直した記述】  
このベンチは、緑に囲まれた中でポツンとひとつ立っていて、そこに影がかかっている。

##### 【「言葉や表現の工夫」をした生徒の意図】

この写真の魅力として捉えた「ベンチ」(対象)について読み手に注目させるため、「ベンチは～立っている。」とベンチの様子をベンチにかかる影の様子と切り離して一文で表現した。さらに、影の様子を「おおいかがぶさっている」と具体的に表現することで、ベンチの存在感を際立たせるようにした。

⇒発言や記述から言葉や表現を工夫しようとしていることが分かる... B評価

##### <Q&A>

- ◆A評価はどのように評価するのか。  
⇒B評価として求めている以上のことが見取れたらA評価とする。A評価とする内容は多様であり、ここでは「言葉の入れ替え」「表現技法の工夫」等がある。
- ◆本時だけではA評価を見取りきれないのではないかと。  
⇒教師による行動観察と併せて自己評価等「振り返り」を書かせるなどして、併せて判断する。評価するための工夫が必要。

##### 【青柳中 国語科より】



地域の方の依頼から本単元を構想することで、目的意識と相手意識が明確になり、鑑賞文を書く言語活動を通じた学習活動を展開することができたと思う。言葉を考える時、誰に、何のために、何を、どのように伝えれば効果的なのか、分からなくなった時に立ち戻るためにも、目的と伝える相手が明確であることが大事であることを改めて感じた。日々の授業で言葉を豊かに使いこなせる生徒を育てられるように、今後も言語活動を通じた単元を工夫していきたい。(木村 大作 教諭)



「主体的に学習に取り組む態度」の評価は、位置付けた授業時間の生徒の学習状況を「粘り強さ」「学習を調整する力」の二点で評価しなければならぬ。本時、生徒達が自分の鑑賞文を見直し、伝え合ったり、書き加えている姿は見られた。しかし、教師が全ての生徒について適切に見取ることや生徒の状況に応じた指導を行うことが十分で来たとは言い難い。資質・能力の育成を図る単元計画の作成とともに、評価規準、評価方法を明確にして、生徒を適切に見取る工夫や技術、指導力を高める必要性を実感した。(市川 才将 教諭)

##### 【参観者の感想より】

- ・生徒の力を高める単元を丁寧に練り上げられて、改善を加えながら進められてきたことがよく分かった。とすれば、表面に見える成果物で評価してしまうが、子供の学び方や向き合い方を評価する方法を考えていくことも必要だと思った。
- ・「主体的に学習に取り組む態度」について、振り返りシートだけではなく、その授業の生徒の姿で評価を見取る必要があることを改めて理解した。
- ・「言葉ノート」を活用されていたが、これは国語科だけでなく、例えば音楽の鑑賞の授業にも使えるのではないかと感じた。他教科の取り組みを知って、自分の教科に活かしていきたい。

